

2022 年産水稻の生育状況

早 期：‘あきたこまち’の出穂期は平年より2日早く、‘コシヒカリ’の出穂期は平年と同じであった。茎数は両品種とも平年よりかなり多かった。

※愛媛県農林水産研究所における水稻の生育観測結果です。

2022 年産水稻の作況試験生育調査結果（8月1日現在）

< 早期 >

耕種概要 { 移 植：4月20日、稚苗3本植、栽植密度 15.2 株/m² (30cm×22cm)
 施肥量：基肥 窒素 6 kg/10a、穂肥 窒素 4 kg/10a }

表 1 水稻作況調査データ(早期栽培)

項 目 (調査日)	あきたこまち		コシヒカリ		
	2022年	平年値	2022年	平年値	
移植35日後 (5月25日)	草丈(cm)	29.7	29.4	33.1	32.8
	茎数(本/m ²)	281	187	322	228
	葉色(SPAD値)	44.5	44.3	38.1	42.2
移植50日後 (6月9日)	草丈(cm)	44.3	44.8	47.4	49.8
	茎数(本/m ²)	556	344	637	403
	葉色(SPAD値)	45.8	45.2	42.7	42.5
出穂期	草丈(cm)	98.5	94.5	108.8	102.1
	茎数(本/m ²)	517	344	507	355
	葉色(SPAD値)	40.0	39.7	37.1	39.1
出穂期		7/5	7/7	7/13	7/13
成熟期			8/9		8/16
稈長(cm)			84		93
穂長(cm)			19.0		20.0
穂数(本/m ²)			360		373
1穂粒数			79		91
登熟歩合			79		73
千粒重(g)			21.5		20.8
精玄米重(kg/a)			54.7		59.2
玄米クハク含有率(%)			7.3		7.4
整粒割合			70		64
検査等級			1.6		1.7
倒伏程度			0.0		1.6

※平年は過去5年(H29~R3年)の平均値。H28~H30、R2、R3年の窒素施用量(10a)は基肥6kg、穂肥4kg。R1年のみ基肥4kg、穂肥4kg施用。倒伏程度は0(無)~5(甚)の6段階。